

Ubi Caritas

Ubi caritas et amor,
~の所 慈しみ と 愛

慈しみと愛のあるところ、

Deus ibi est.
神は そこに ある

神はそこにおられる。

Congregavit nos in unum
群れにまとめる 私達を 一つ

私達を一つに集める

Christi amor.
キリストの 愛

キリストの愛は。

Exsultemus
喜ぼう

喜ぼう、

et in ipso jucundemur.
※ judicando(楽しませる、2複受動態)

そして彼(キリスト)自身において楽しもう。

Timeamus et amemus
怖れよ 愛せ

畏れ、愛せよ、

Deum vivum.
神を 生ける

生ける神を。

Et ex corde diligamus
~から 心※ 尊重する(diligo)

そして私達も互いに愛し合おう、

nos sincero. Amen.
私達互いを 真実の

真実の心から。アーメン。

ipso = 強意形容詞の男性・単数・奪格(間接目的格)

「~自身、~自ら」と訳すが再帰代名詞se(英-self)とは違い、意味を強める形容詞。

corde = chorde。腸。→「楽器の弦(ガット弦)」や「内臓の奥底=心」の意味になる。

"Northern Lights" (Pulchra es amica mea)

Pulchra es amica mea 私の愛しい人よ、汝は美しい、
美しい 汝は～だ 愛しい人 私の

suavis et decora filia Jerusalem. 甘美かつ華麗なる、エルサレムの娘よ。
甘美な 華麗な 娘 エルサレム

Pulchra es amica mea 私の愛しい人よ、汝は美しい、
be動詞2単現在

suavis et decora sicut Jerusalem 甘美かつ華麗なること、エルサレムのよう、
甘美な 華麗な ～のように

terribilis ut castrorum acies ordinata. 恐るべきこと、整列した軍営のよう。
恐ろしい ～のように 城砦 軍隊・戦列 整列した

Averte oculos tuos a me 汝の眼差しを私からそらせ給え、
反らせよ 眼差しを※ 汝の ～から 私

quia ipsi me avolare fecerunt. その眼差しこそが私を恐れさせるが故に。
なぜなら ※ 私 飛び退く ～させる

※

oculos = oculus 眼差し (男性)、通常は複数で。oculosは男性・複数・対格。

ipsi = 強意形容詞の男性・複数・主格。ここでは「眼差し」を指す。

avale = avole (飛び去る、飛び退く)の不定形現在。

fecerunt = facio (する、作る、英語の使役動詞makeと同じか)の直接法完了feciの3人称複数。

"Serenity" (O magnum mysterium)

O magnum mysterium,

偉大な 神秘

おお、偉大なる神秘よ、

et admirabile sacramentum,

感嘆すべき 秘蹟

そして感嘆すべき秘蹟よ、

ut animalia viderent

※ 動物たち 見た

動物たちが見たとは！

Dominum natum,

主 生まれた

生まれた主が

iacentem in praesepio.

横たわる 飼い葉桶

飼い葉桶に横たわるのを。

(O) beata Virgo,

幸いな 乙女

(おお、) 幸いなる乙女よ、

cujus viscera meruerunt portare

その ※肉体は ～に値した もたらず

汝の胎は身ごもるのに値したのだ

Dominum Christum.

主、キリストを。

Alleluia!

アレルヤ！

※

ut=何とまあ、～であるとは！

viderunt=video、3複、完了形

viscera=viscus（肉）の複数形、複数形が一般的

meruerunt=mereo（値する）の3複、完了形

Tota pulchra es

Tota pulchra es, Maria,

全く 美しい 汝は～だ

マリアよ、汝は全く美しい

Et macula originaris non est in te,

汚れ 原初の 無い 汝に

汝には原罪の汚れが無い。

Vestimentum tuum candidum quasi nix,

衣服 汝の 白い ～のように 雪

汝の衣は雪のように白く、

Et facies tua sicut sol.

顔 汝の ～のよう 太陽

汝の顔は太陽のよう。

Tu gloria Ierusalem,

栄光

汝はエルサレムの栄光、

Tu laetitia Israel,

喜び

汝はイスラエルのよろこび、

Tu honorificentia populi nostri,

誇り※ 人々 我々

汝はわれわれ人類の誇り。

Tota pulchra es, Maria

マリアよ、汝は全く美しい。

honorificentia = 名誉を与えること

©Kenich Yamagishi